

# JAUW 茨城支部だより 2020年度-2号

URL <http://jauw-ibaraki.net/> 2021年3月18日 一般社団法人 大学女性協会(JAUW)茨城支部 発行

コロナコロナに振り回され2020年度も終わってしまいそうです。マスクの着用、手洗いの徹底、ソーシャルディスタンス、自粛生活、緊急事態宣言、新しい生活様式、Stage（判断指標）が上がった下がった等々。コロナという長いトンネルはどこまで続くのでしょうか。

厚労省から「新しい生活様式の実践例」—（1）一人ひとりの基本的感染対策（2）日状生活を営む上での基本的な生活様式（3）日常生活の各場面の生活様式（4）働き方の新しいスタイル—が昨年6月に示されました。皆さん、「新しい生活様式」は身につきましたでしょうか。気を緩ませることなく、自らを感染から守る、自らが周囲に感染を拡大させないよう「新しい生活様式」を自分の生活の範囲で実践していきたいものです。

さて、茨城支部の今年度を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症拡大により5月の総会を書面表決に切り替え、3密を防ぐことから、集合形式での定例会や講演会を中止しせざるを得ませんでした。支部活動として何ができるかを模索しながら、年度前期は何もできない状況でしたが、年度後期に。なって、支部会員向けに「コロナ禍アンケート」を実施することができました。生活に制限を受けながらも前向きに生活を送っている様子が窺え、さすが大学女性協会の会員には底力があると感じました。役員会も集まるのが困難な状況でしたが中島会員の力をお借りし、オンライン（ZOOM）で役員会を4回ほど行いました。定例会も「子育ての社会化を考える」というテーマを掲げ3回シリーズで行いました。オンラインの会議、定例会を実際に行った結果から、コロナ禍が終息してもオンラインの活用は一つの選択肢になると思いました。役員会や講演会など事情によっては集まるのが困難な時や出かけるのが困難な時、自宅などから参加できるメリットがあります。これからは対面に加えオンラインも活用していきたいと考えます。本部主催の支部長会議もオンラインで行われました。直接集まったの会議とは雰囲気が違う面もありましたが、話す相手の方を身近に感じる事ができ良かったです。オンラインはコロナ禍がもたらした一つですが、今後は更に加速することでしょう。茨城支部としても今更と言わずオンラインなどITC関連の学びの場を設ける必要がありますね。

今年度も、会員の皆さまには茨城支部の運営にご協力いただき心から感謝申し上げます。

（支部長 安藤）



静間敏子さん作

陶製のお雛様

## 子育ての社会化について考える（参加型）定例会終了のご報告

3回シリーズ（12月19日、1月30日、2月13日）のリモート勉強会を終了しました。茨城支部会員8名の参加がありました。

ファシリテーターを担った中島美那子（茨城キリスト教大学）、安藤みゆき（茨城女子短期大学）の2名も茨城支部会員であり、一方的にお話をする講義型ではなく、みなさんと楽しくディスカッションしながらの参加型の会となりました。

参加して下さったみなさんから、「もっと多くの人にこの会を知ってほしいね」とのお声をいただき、来年度に向けての新たな展開を考えています。（中島 美那子）

フィンランドでの子育て	日本の子ども虐待の社会的コスト
<ul style="list-style-type: none"><li>「子どもはあなたたち（親）の子どもではなく、私たち（社会）の子どもである」という考え方が社会に浸透。</li><li>保健、医療、保育、教育、福祉等の子育て家庭にかかわる者たちは、誰から教えられることなく「子育ての社会化」を基本としている。</li></ul> <p>↓</p> <p>フィンランドと日本、どちらの社会で育った子どもが幸せだと思いますか？</p> <p>私たちがこのような意識で子どもや家庭に向き合いませんか？</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>子どもに関する課題を経済的視点で分析する研究は、世界中で盛んに行われている。</li><li>しかし日本では、子どもの課題を経済的視点で捉えたデータ自体が非常に少ない。そのようななか、以下のような論文が発表された。</li></ul> <p>Ichiro Wada, Ataru Igarashi (2014) “The social costs of child abuse in Japan” Children and Youth Services Review(46)</p>

### 定例会感想（松本由美子）

「子育ての社会化の勉強会」の言い出しっぺは私だったので、キチンとやらねばとパソコンを見たら「あれれカメラがついてないみたい」。外付けのカメラを購入したが思うようではない。結局年末に新しくカメラ付きのパソコンを購入することに。そのあと、よくみたら前のパソコンにもカメラ機能があることがわかり（笑）、といったことで始まった勉強会でした。内容の詳細は、常時ホスト兼ファシリテーターとしてお世話下さった中島副支部長にお任せするとして、以下私的な感想です。

日常の暮らしそのものが地域とのかかわりが希薄になっている昨今、家事・育児専従の母親は、夫との関係性にもよるとは思いますが、閉鎖的な環境の中で子育てに悩みをかかえているのではないかと、以前から考えていました。それが、安藤みゆきさんの講義で“アロペアレンティング（親以外に子どもを養育する）”の視点の重要性や、発達障害についても出生後の環境要因も影響していることを教えていただきました。また参加者との話し合いの中から、子育ての社会化が、“**子育て**”には重要なファクターになるという確信につながり、支部活動の今後の指針とも受け止めました。

加えて自己紹介や連想ゲーム、途中のグループディスカッションの時間などブレイクタイムも適宜に織り込まれ、自身のデジタル化も少しは進歩したかも？と思っています。コロナ禍が一日も早く終息することを願うものですが、一旦オンライン化に舵が切られた今、コロナが終息してもこの流れが続くのではないのでしょうか。今回の勉強会がこれからの支部活動に広がり・つながることを願っています。

## 定例会感想（胸組 恵子）

12月19日、1月30日、2月13日の3回にわたって、「子育ての社会化」についての定例会がオンラインでありました。

初めに最近の子育て便利グッズの紹介があり、いろいろ便利なものができているなどおもいました。そんな便利なものがあっても、現代は子育てがしにくい現状を知りました。

第2回の際に聞いた言葉、「お母さんが子どもを育てなくていいということになったら、虐待はすぐなくなるんだけどね」という言葉が印象的でした。現在は、子供の数が減っているにもかかわらず、虐待の件数は過去最高を更新しています。虐待により死亡した子供もいます。お母さんだけが子どもを育てるのではなく、子どもを社会で育てるという意識をもつところから、子育ての社会化ができるのではないかと思います。

養護施設に預けたり、里親制度を利用したりという段階ではなくても、家族が病気になってしまった時や、仕事が忙しくて困っている時など、子育ての支援が気軽に受けられるような公共のシステムが必要であろうと思います。

教育課程の中で高校生までに命の尊さや子育ての大切さや苦労についてもっと学習したり、自分より弱いものは助けるという道徳観をみにつけたりすることが必要だと感じました。

子育ての社会化に向けて、自分は何ができるか、大学女性協会としては何ができるか考えましたが、子どもや子連れのお母さんに声をかける身近な小さなことから実践し、子育てに関心を持っていくことが大切だと思います。

3回にわたりとてもためになる内容でした。オンラインという新しい方法であったためか参加者が少なかったのが残念でした。

## 茨城県女性団体連盟 35周年記念「連盟のつどい」に参加して

○来賓挨拶 茨城県知事・茨城県会議長・水戸市長

印象に残ったのは水戸市長の「会議の場に女性がいることが大事。だから会議に必ず2人は女性が入るようにしている。」という話。日本の様々な施策が生活に即していない理由は話し合いや決定の場に女性が入っていないことではないかと常々考えていたので、このような考え方の市長がいるのだと男女共同参画社会の実現に近づいた気がいたしました。



○記念講演 元筑波宇宙センター所長 菊山 紀彦 さん



最近の宇宙服は温度調節ができるようになってきているといった技術の進歩の話から、展望室から眺めると夜は人間の活動が良く見える。ロンドン、パリ、ニューヨークなどの大都市は明々と光が灯るが北朝鮮はピョンヤン以外は真っ暗である。といった宇宙へ行って自分の目で見てみたいと思う内容までもっと聞かせていただきたいと思う講演でした。

次の2点は特に印象的でした。

- 宇宙飛行士になるためには肉体的な要素より精神的要素が大きい。(どんな重い物でも女性が軽々と持ち上げることができる。) またどんな職業の作業でもできなければならないので、知識と技能が必要。(知識はあるが自分ではできないではしょうがない。)
- ハムラビ法典には、人を殺してはいけない、盗んではいけない等書いてある。金を払えば森林を伐採しても良いということではないだろう。地球規模で考えるとただの盗人ではないか。(横須賀典子)



## 2021年度 支部総会のご案内

日時：2021年5月8日(土) 13:30~15:30

会場：みと文化交流プラザ(ピヨンド) 5F ミーティングルームA

内容：13:30~支部総会

14:00~講話：常磐大学学長 富田敬子 氏

テーマ「SDGs 誕生の舞台裏」



※残念ながら皆様とご一緒しての食事会などは開けません、皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

◇一般社団法人大学女性協会ホームページに各支部の部屋ができました。

茨城支部の紹介がホームページにアップされました。

<https://jauw.org/> の上段バナー■本部・支部便り■支部活動■茨城支部で見てください。

### ◎ 編集後記

東日本大震災から10年が経ちました。TVの特集を見ていると今更ながら被害の甚大さに心がおののきます。コロナ禍はどこまで広く深く影響を残すのかわかりませんが、私にとってはzoomでの会議や講演会などに親しむきっかけになりました。移動にかかる時間を削減でき、何人かで話し合うことができるのはとても便利で良かったです。それでもやはり気の置けない友人たちとの旅行やランチなどを楽しめるようになるのは何時になるのかと首を長くして待ちわびています。

(夢見る昔少女)

